

第2回 DPRI Award 受賞者を決定しました

京都大学防災研究所は、第2回防災研究所国際表彰 DPRI Award「研究教育業績賞」の受賞者として、メキシコ自治大学教授の F. J. サンチェスセスマ博士 (Dr. Francisco José Sánchez-Sesma) を選出いたしました。

授賞式は、2015年2月23日(月)9:35より、京都大学宇治キャンパス宇治おうばくプラザきはだホールにて執り行います。授賞式およびサンチェスセスマ博士の受賞記念講演は Ustream (<http://www.ustream.tv/channel/dpri>) にてリアルタイム配信予定です。



F. J. サンチェスセスマ博士 (Dr. Francisco José Sánchez-Sesma)

第2回 DPRI Award 受賞者のプロフィール

サンチェスセスマ博士は1950年メキシコシティに生まれ、1975年にメキシコ自治大学工学研究科から工学修士を取得後1976年から同大学の工学研究所教授に着任、1979年に工学博士を取得されました。その後1997年から1999年にはメキシコ石油公団研究所にも勤務され、1999年から2003年にかけては工学研究所所長も務められました。現在もメキシコ自治大学工学研究所と地球物理学研究所の併任教授として後進の指導に当たられています。この間、40年近くに渡り地震学・地震工学の第一人者として、地震波の散乱・回折・干渉現象、堆積盆地・地形効果による増幅特性など、波動伝播に関する幅広い分野において常に最先端の研究をされ、特に理論的なメカニズムの解明を数多くされてきました。その研究成果は膨大な量の研究論文として発表されており、現在でも毎年数多くの研究論文を発表されています。サンチェスセスマ博士は、2001年から2年間メキシコ地震学会会長を務められ、2004年から2年間メキシコ科学アカデミーの会長も務められました。また、Mexican National Sciences and Arts Award (Mexican Civil Engineering College から) や Luis Esteva Medal 2011 (Mexican Society of Earthquake Engineering から) など多くの賞を受賞されています。

防災研究所においては、招へい外国人学者として、1988年度、1991年度、1994年度にそれぞれ2~3ヶ月、外国人客員教授として2010年度に4ヶ月滞在され、「三次元波動伝播解析法」や「表面波を用いた地盤構造の同定」、「擬似スペクトル法による不均質地盤解析」や「拡散波動場理論に基づく地盤構造同定手法」に関する共同研究・研究指導をされてきました。また、これらの研究内容に関連した地震学の講義・ゼミナールを行い、地震学・地震工学・耐震工学を中心とした地震防災に関係する分野の学生、若手研究者への教育を熱心に行われました。その結果は Aoi *et al.* (1995) や Sánchez-Sesma *et al.* (2001)、Kawase *et al.*, (2011)、Matsushima *et al.*, (2014) など7編の審査論文に結実しています。

DPRI Award について

防災研究所では、自然災害に国境はないことから、従来から国際交流協定の締結、国際共同研究・海外災害調査や留学生・海外共同研究者の受け入れに積極的に取り組んできています。その一環として2011年3月に「京都大学防災研究所国際表彰規程」が承認され、DPRI Award が設立されました。その表彰の要件は概略下記のようになっています。

- 1) 防災研において、客員教員や共同研究者などとして滞在し、セミナーや共同研究などを実施し、防災研の研究教育に成果を上げた方
- 2) 防災研が主催する研究集会等において、基調講演、招待講演等を務め、又は企画運営に携わり、防災研の活動に貢献した方
- 3) 防災研が実施する国際共同研究及び現地調査等において貢献した方

2013 年度には、カリフォルニア工科大学名誉教授の金森博雄博士に第 1 回防災研究所国際表彰 DPRI Award を授与いたしました。